

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	ライブステージ鑑賞1	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	15時間
単位数	1単位			授業形態	講義
教科書/教材	無				
担当教員情報					
担当教員	志鎌克彦	実務経験の有無・職種	有・レコード会社、プロダクション		
学習目的					
<p>在学中に様々なライブイベントに参加し、客観的な視点で自分を見るスキルを修得する。また、スタッフ系学科の学生とコラボすることも重点におき、学生が作成したセットリストや演出プランを見て「自分だったこうする」と言う視点を持つ事、またそれをスタッフに提案する事。それを、踏まえた上で出演、または、ライブ鑑賞する。それが1年後の自分の姿を想像させる事につながる。パフォーマンス系の学生はステージに立つ上での立ち振る舞いや態度などを学ぶことに重きを置きながら出演、または、鑑賞する。ライブレポートとして担任に提出し、後日担任との個別面談も含めた指導の中で学生一人ひとりに応じた適切なキャリアプランを見つけて、目標に向けて努力して道筋を指南する。</p>					
到達目標					
<p>セルフプロデュースをアーティストに求められる時代になり、作詞、作曲、アレンジ、楽器演奏のみならず、ライブをオーガナイズする事。スタッフを招集し、ライブをプロデュースすることもアーティストとして大事なスキルになってきている。卒業後に迫る近い未来の想像を行う事で、目標を達成する為の事前準備、ネゴシエーションの大切さを認識させる。ライブ鑑賞を行った日までに何が出来ていないといけないのかを理解させ、学生一人ひとりの年次スケジュールを組ませ自らのキャリアプランに活かせるようにする。</p>					
教育方法等					
授業概要	ミュージックカレッジが指定したライブイベントをに参加（出演または、鑑賞）して、全体を見渡した感想を後日レポートで提出する。学生から提出されたレポートを元に共通課題を見つけ出し、授業の議論課題とする。同じような悩みを常にクラスメートも抱えていることを知り、自由にその解決策や課題克服の為のスキルを共有する。				
注意点	15時間に満たず鑑賞時間は担任との面談で設定して行く。ただしReal Dreams、修了ライブ、卒業ライブといった大事な場面では必修として鑑賞させる。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	30%	ライブレポートを提出		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	70%	出席点		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	新入生歓迎ライブ	片柳アリーナで開催される新入生歓迎ライブに参加			
2回	MU科新入生歓迎ライブ	Alchemy Stageで開催されるミュージックアーティスト科限定新入生歓迎ライブ			
3回	MU FES 1	前期を締めくくるミュージックアーティスト2号館2F、4Fで行われるイベントライブ			
4回	サマーライブ3	TSUTAYA O-EASTで開催されるサマーライブに参加			
5回	かまた祭ライブ1	片柳アリーナで開催されるかまた祭ライブに参加			
6回	インストラクターライブ	講師陣によるライブ、授業で行った楽曲の全曲パフォーマンス			
7回	MU FES 2(かまた祭)	蒲田祭期間中に行われるミュージックアーティスト2号館2F、4Fで行われるイベントライブ			
8回	MU FES 3(かまた祭)	蒲田祭期間中に行われるミュージックアーティスト2号館2F、4Fで行われるイベントライブ			
9回	REAL DREAMS 出演者ライブ	REAL DREAMS音源審査通過者によるパフォーマンス審査。Alchemy Stageで開催			
10回	REAL DREAMS 出演者最終ライブ	パフォーマンスディレクターによる、REAL DREAMS出演決定アーティスト審査ライブ			
11回	Real Dreams	片柳アリーナで開催されるReal Dreamsに参加			
12回	修了ライブ1	1年次による、作品、パフォーマンスの集大成となるライブ			
13回	修了ライブ2	1年次による、作品、パフォーマンスの集大成となるライブ			
14回	卒業ライブ1	2年次による、作品、パフォーマンスの集大成となるライブ			
15回	卒業ライブ2	2年次による、作品、パフォーマンスの集大成となるライブ			